

- 当社は、2025年度第5回のALPS処理水海洋放出を、10月30日午前11時22分から実施しています。
- 放出期間中は、ALPS処理水（トリチウム）の希釈が適切に行われているか毎日確認することを目的に、海水で希釈後の水のトリチウム濃度を分析し、トリチウム濃度が計算上の濃度と同程度であることおよび1,500ベクレル/ℓ未満であることを確認しています。
- 発電所から3km以内の10地点および発電所正面の10km四方内の4地点においては、海水のトリチウム濃度の分析結果を迅速に得ることを目的に、検出限界値を10ベクレル/ℓ程度に上げた分析を実施し、トリチウム濃度が放出停止判断レベル（700ベクレル/ℓ※<sup>1</sup>または30ベクレル/ℓ※<sup>2</sup>）および調査レベル（350ベクレル/ℓ※<sup>1</sup>または20ベクレル/ℓ※<sup>2</sup>）以下であることを確認しています。
- また、2025年度も長期的な点検計画に基づき、設備の定例点検を行います(2スライド参照)。

※1 発電所から3km以内の10地点    ※2 発電所正面の10km四方内の4地点

<2025年11月16日までにお知らせ済み>

- 2025年度第5回のALPS処理水海洋放出は、約460m<sup>3</sup>/日の放出量で安定的に推移し、海水中のトリチウム濃度についても、当社が実施する迅速な分析の結果等から、計画的に安全に行われていることを確認しています。
- 測定・確認用設備C群からのALPS処理水の移送が、11月16日午後2時39分に終了し、ALPS処理水移送ラインの配管内に残っている水（ALPS処理水）の、ろ過水による押し流しが、11月17日午後0時3分に終了したことをもって、2025年度第5回のALPS処理水海洋放出が完了しました（総放出水量：7,838m<sup>3</sup>、トリチウム総量：約2.0兆ベクレル）。
- 11月18日から測定・確認用タンクC群の本格点検（全面内面点検）を実施します。
- 海洋放出関連設備は計画的な点検により異常の早期発見に努め、点検時に塗装の割れや膨れ、腐食等が確認された場合には、これまで通り、適切な補修を行い、長期的な健全性の維持に取り組んでまいります。

## 【参考】2025年度 定例点検の概要

- 2025年度も下表の通りの定例点検を計画。
- 2025年度の第6回目（管理番号：25-6-17）の放出は、希釈／取水設備の点検と並行して行う。放出中に取水路A系の点検を行うが、取水路はA系とB系を隔離することができ、希釈・放出に必要な海水移送ポンプ2台分の水路を確保できる。また、放出中に海水移送ポンプA号機の点検を行うが、海水移送ポンプは合計3台あるため、希釈・放出に必要な2台は確保できることから、放出計画に影響は無い。

| 設備名      | 主な点検内容                   | 点検実施予定時期                         |
|----------|--------------------------|----------------------------------|
| 測定・確認用設備 | 測定・確認用タンクC群：本格点検（全面内面点検） | 2025年11月～2026年5月頃                |
|          | 循環ポンプ：分解点検               | 2025年10月～2025年11月頃               |
|          | 攪拌機器：絶縁抵抗測定他             | 2025年10月※ <sup>1</sup> ～2026年5月頃 |
|          | その他：ストレーナ清掃等             | 2025年8月※ <sup>1</sup> ～2026年5月頃  |
| 移送設備     | ALPS処理水移送ポンプ：軸受け潤滑油交換    | 2025年12月～2026年2月頃                |
|          | 緊急遮断弁-1：分解点検             | 2026年1月～2026年2月頃                 |
|          | 緊急遮断弁-2：外観点検             | 2026年1月～2026年2月頃                 |
|          | その他：ストレーナー清掃等            | 2025年8月※ <sup>1</sup> ～2026年5月頃  |
| 希釈設備     | 海水移送ポンプA系：分解点検           | 2025年11月※ <sup>2</sup> ～2026年2月頃 |
|          | 海水移送ポンプB系：グランドパッキン交換     | 2025年12月～2026年2月頃                |
|          | 海水移送ポンプC系：グランドパッキン交換     | 2025年12月～2026年2月頃                |
|          | 海水移送配管・海水配管ヘッダ：内面点検      | 2025年12月～2026年2月頃                |
|          | 放水立坑（上流水槽）：内面点検          | 2025年12月～2026年2月頃                |
| 放水設備     | 放水立坑（下流水槽）、放水トンネル：内面点検   | 2025年12月～2026年2月頃                |
| 取水設備     | 仕切堤：外観点検                 | 2025年12月～2026年2月頃                |
|          | 取水路A系：清掃、内面点検、補修         | 2025年11月※ <sup>2</sup> ～2026年2月頃 |

※1:各系統の設備停止期間中に実施

※2:2025年度第6回放出と並行して実施

# 【参考】2025年度ALPS処理水放出計画（1/2）

- 2025年度の放出計画は以下の通り、年間放出回数7回、1回当たりの放出水量約7,800m<sup>3</sup>、年間放出水量約54,600m<sup>3</sup>、年間放出トリチウム量約15兆ベクレルを計画。

| 管理番号※1  | 移送元タンク※2                                                 | 移送量※3                                          | ※4                                                                                       | 放出開始時期 |
|---------|----------------------------------------------------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 25-1-12 | G4南エリアB群（測定・確認用設備 A群に移送）<br>K3エリアA/B群 ※5(測定・確認用設備 A群に移送) | : 約8,080m <sup>3</sup><br>: 約910m <sup>3</sup> | 二次処理 : 無<br>告示濃度比総和 : 0.45～0.55※6<br>トリチウム濃度 : 22万～37万ベクレル/ℓ ※7<br>トリチウム総量 : 2.8 兆ベクレル   | 4月     |
| 25-2-13 | K3エリアA/B群 ※5(測定・確認用設備 C群に移送)<br>J1エリアE群（測定・確認用設備 C群に移送）  | : 約6,970m <sup>3</sup><br>: 約820m <sup>3</sup> | 二次処理 : 無<br>告示濃度比総和 : 0.45～0.62※6<br>トリチウム濃度 : 22万～38万ベクレル/ℓ ※7<br>トリチウム総量 : 1.9兆ベクレル    | 6～7月   |
| 25-3-14 | J1エリアE群（測定・確認用設備 A群に移送）<br>G5エリアE群（測定・確認用設備 A群に移送）       | : 約7,300m <sup>3</sup><br>: 約480m <sup>3</sup> | 二次処理 : 無<br>告示濃度比総和 : 0.47～0.62※6<br>トリチウム濃度 : 20万～38万ベクレル/ℓ ※7<br>トリチウム総量 : 2.9兆ベクレル    | 7～8月   |
| 25-4-15 | G5エリアE/C/B群（測定・確認用設備 B群に移送）                              | : 約8,970m <sup>3</sup>                         | ※4 二次処理 : 無<br>告示濃度比総和 : 0.47～0.62※6<br>トリチウム濃度 : 20万～22万ベクレル/ℓ ※7<br>トリチウム総量 : 1.6兆ベクレル | 9月     |

次スライドへ

※1 管理番号は年度-年度毎の放出回数-通算放出回数の順で数を並べたもの。「25-1-12」は25年度第1回放出かつ通算第12回放出を表す。

※2 移送量（実績値）の増減により、移送元タンクの移送順序は変わらないが、放出回は前倒しもしくは後ろ倒しとなる可能性あり。

※3 下線部は実績値を示す。

※4 受入先の測定・確認用タンクA・B群はタンク点検後で残水が無い状態のため、移送量としては合計約9,000m<sup>3</sup>となる（放出水量は約7,800m<sup>3</sup>）。

※5 K3エリアA/B群は、2023年度および2024年度に移送・放出により空になったところへ再度ALPS処理水の受け入れを実施。

※6 ALPSで処理し、タンク貯留後に測定した、主要7核種（Cs-134,Cs-137,Sr-90,I-129,Co-60,Sb-125,Ru-106）の分析値から算出した告示濃度比にC-14の最大値（0.11）およびその他核種の合計を0.3と推定したものを加えた、保守的な値。

※7 タンク群平均、2025年4月1日時点までの減衰を考慮した評価値。

# 【参考】2025年度ALPS処理水放出計画（2/2）

| 前スライドより                     |                                                               |                                                  |                                                                                       | 放出開始時期 |
|-----------------------------|---------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 管理番号※1                      | 移送元タンク※2                                                      | 移送量※3                                            |                                                                                       |        |
| 25-5-16                     | G5エリアB/A群<br>(測定・確認用設備 C群に移送)                                 | : 約7,780m <sup>3</sup>                           | 二次処理 : 無<br>告示濃度比総和 : 0.47～0.59※4<br>トリチウム濃度 : 22万～26万ベクレル/ℓ ※5<br>トリチウム総量 : 1.9兆ベクレル | 10～11月 |
| 25-6-17                     | G5エリアA/D群<br>G4北エリアA群<br>(測定・確認用設備 A群に移送)<br>(測定・確認用設備 A群に移送) | : 約4,050m <sup>3</sup><br>: 約3,710m <sup>3</sup> | 二次処理 : 無<br>告示濃度比総和 : 0.46～0.76※4<br>トリチウム濃度 : 26万～30万ベクレル/ℓ ※5<br>トリチウム総量 : 2.2兆ベクレル | 11～12月 |
| 点検停止（測定・確認用設備 C群タンクの本格点検含む） |                                                               |                                                  |                                                                                       |        |
| 25-7-18                     | G4北エリアB群<br>H2エリアJ群<br>(測定・確認用設備 B群に移送)<br>(測定・確認用設備 B群に移送)   | : 約3,760m <sup>3</sup><br>: 約4,040m <sup>3</sup> | 二次処理 : 無<br>告示濃度比総和 : 0.58～0.78※4<br>トリチウム濃度 : 26万～27万ベクレル/ℓ ※5<br>トリチウム総量 : 2.0兆ベクレル | 3月     |

➡ 2025年度放出トリチウム総量 : 約15兆ベクレル

※1 管理番号は年度-年度毎の放出回数-通算放出回数の順で数を並べたもの。「25-1-12」は25年度第1回放出かつ通算第12回放出を表す。

※2 移送量（実績値）の増減により、移送元タンクの移送順序は変わらないが、放出回は前倒しもしくは後ろ倒しとなる可能性あり。

※3 下線部は実績値を示す。

※4 ALPSで処理し、タンク貯留後に測定した、主要7核種（Cs-134,Cs-137,Sr-90,I-129,Co-60,Sb-125,Ru-106）の分析値から算出した告示濃度比にC-14の最大値（0.11）およびその他核種の合計を0.3と推定したものを加えた、保守的な値。

※5 タンク群平均、2025年4月1日時点までの減衰を考慮した評価値。

## [参考] 迅速に結果を得る測定の実モニタリング計画

- 当社は、2023年8月の放出開始以降、下図に示す枠内の14地点で、迅速に海水中のトリチウム濃度を確  
認するためのモニタリング（検出限界値10ベクレル/ℓ程度）を実施しています。なお、「放出停止判断レベル  
（図中記載）」を超えた場合には、海洋への放出を停止します。

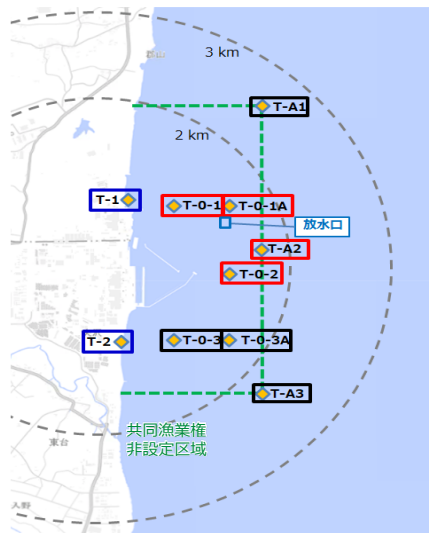


図1 試料採取地点 発電所から3km以内（放水口付近）

□ □ □: 迅速に結果を得るモニタリング対象地点（10地点）

指標（放出停止判断レベル） 700ベクレル/ℓ

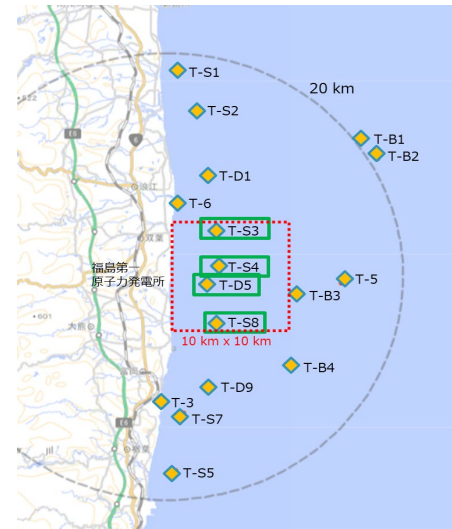


図2 試料採取地点 発電所正面の10km四方内

□: 迅速に結果を得るモニタリング対象地点（4地点）

指標（放出停止判断レベル） 30ベクレル/ℓ

|                            | 【図1】発電所から3km以内（放水口付近） |            | 【図2】発電所正面の10km四方内<br>4地点 □     |
|----------------------------|-----------------------|------------|--------------------------------|
|                            | 放水口周辺4地点 □            | その他6地点 □ □ |                                |
| 放出期間中および<br>放出終了日から1週間     | 毎日※1                  | 週2回※2      | T-D5:週1回<br>T-S3,T-S4,T-S8:月1回 |
| 放出停止期間中<br>(放出終了日から1週間を除く) | 週1回※2                 | 月1回※2      |                                |

※1 放出期間中に荒天のため連続して2日間欠測し、翌日（3日目）も欠測が予測される場合には、3日目はT-1、T-2の迅速に結果を得る測定を行う

※2 2023年8月の放出開始以降、毎日モニタリングを実施してきたが、放出中の実績等を踏まえ、2023年12月26日からモニタリング計画を変更した

(2023年12月25日公表)